



発行
米原市伊吹老ク連
編集
米原市伊吹老ク連
広報委員会
米原市伊吹老ク連事務局
TEL (0749) 58-1634

「繋がりのある高齢社会を歩む！」



伊吹老ク連 副会長 嶋田 正昭

平和な時代を歩んで来た高齢者にも、新しい時代の日本と新しい春が到来しようとしております。

昨年の四月に、伊吹老人クラブ連合会(単ク一・会員九五三名)の役員に御推挙をいただき、各種の事業と行事活動に携わり早一年目になりますが、各集落の高齢化と人口減少による活力衰退に戸惑いを感じながらも、「老人クラブ」組織団体の社会的な位置づけの重要性を再認識し、「如何にあるべきか!」を自問し責務の重さを痛感しています。

我々が住み慣れた霊峰伊吹の麓、豊かな自然に恵まれた伊吹地域は、我々にとって掛け替えの無い素晴らしい故郷・終の棲家であり、穏やかな生活が営み得るコミュニティとして、これまで多くの先人達が地域の発展を願ってきました。私自身、満六十五才で高番老人クラブの会員に加入して十年目、約七〇名の男女会員の皆さんと共に、毎年の一日バス旅行やお食事会・老ク連のスポーツ行事・奉仕活動を通じて、この歳ま

で健康を維持しつつ、老人クラブ事業への参加を楽しんできました。



高番老人クラブ

また、会員八年目には単ク

高番の会長に選出されて一年間の大任を預かり、地域の清掃奉仕や各種行事を協力し合いながら推し進め、ボランティア活動を通じて親睦を図るなど、自身への癒やしと学習経験により、人との「ふれ合いと繋がる心」の大切さを、改めて知ることになりました。

今や、時代の移り変わりとともに日本社会の現状は、少子高齢社会が加速して人口減少・核家族化や都市化中心・地方疲弊などの社会現象が進む中で、I・Tの発達進展に伴い雇用や人々の生活に経済格差を生み、世代間や地域社会の繋がりが希薄な環境が生じており、人々の気心や行動

範囲が多様で不透明な社会構造になって来ました。

伊吹老人クラブ連合会は、これまでに多くの先輩諸氏が脈々と築かれた地域の団結精神と行動力を持つ共助の組織体であり、活力ある高齢社会を目指す伊吹地域の「人々を繋ぐ集合体」として活動、老いの社会を生き抜く中核組織の役割を持ち、今後とも永続性が求められる任意団体だと思っております。

「天気晴朗なれど波高し!」老人クラブ連合会の現状に鑑みて、組織の将来展望として弱体化は否めず、その克服を図るための手段と対策検討は、我々老ク連全ての役員が担う緊急の課題になっていきます。実現可能な各種高齢者団体との事業繋がりがやコラボ可能な計画を協議しながら、単ク会員への加入者が一人でも多く増えていただき、伊吹老人クラブ連合会の組織展開が円滑に図られることを心から願うものです。

高齢者の皆様の深いご理解とご協力を切望いたしますと共に、会員各位のご健勝とご多幸を心から祈念いたします。

伊吹老ク連各部会 平成最後の歩み



研修部会 会長

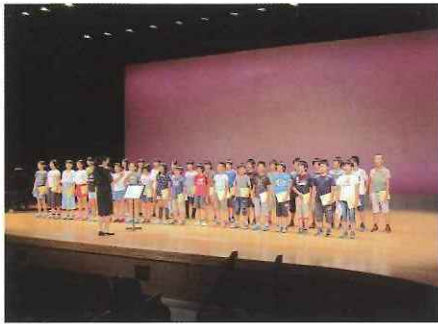
上津 和雄

永く親しまれてきた平成の年号も残すところ一ヶ月になりました。今日この頃伊吹老人クラブ連合会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

一生懸命タクトを振つての指揮で歌を盛り上げていただいたのが印象的でした。

昨年四月十九日の理事会において研修部会の部会長という大役をお受けいたし、単ク役員様を始め会員皆様方のご協力により、無事一年を終えることが出来ました事に先ずは、厚くお礼申し上げます。平成三十年伊吹老ク連研修部活動を振り返つてみますと、最初の取り組みは七月十一日「寿ふれあい広場」で薬草の里文化センターにて「健康・友愛・奉仕」をモットーの基「のぼそうー健康寿命、担おう！地域づくりを」目指して開催、ホールは一八七名の参加をいただき、中村老ク連会長の挨拶の後、オープニングとして春照小学校六年の皆さんによるコーラス「ふるさと」、「花は咲く」を披露していただきました。大橋教頭先生の

次に滋賀県警察音楽隊十九名の皆さんによる演奏で「三六五日の紙ひこうき」「青い山脈」「琵琶湖周航の歌」等、馴染みの深い曲ばかりを約三十分に亘つて聴かせていただきました。あまりの素晴らしさにスタッフの方に「日頃の位練習をされていますか？」と問い合わせた所、「余暇を利用して月に数回程度合同練習をしている」との事で敬意を感ずるものがありました。



寿ふれあい広場 春照小6年生の皆さん



寿ふれあい広場 滋賀県警察音楽隊の皆さん



寿ふれあい広場 交通安全講話

休憩後米原警察署交通課吉田様より「高齢化社会と交通安全」、並びに米原市健康づくり課安西管理栄養士及び中澤保健師による「のぼそう！健康寿命」食育と健康について講演を賜り、いずれも日常生活に役立つお話でありました。



寿ふれあい広場

次は、台風の影響で、あいにくの雨の中、最初に金沢市ひがし茶屋街を散策、加賀百万石の城下町として昔を偲ぼせる街並みは印象に残るものでありました。木彫りの里にて昼食を済ませ富山県瑞泉寺を参拝後一号車、二号車ごとに記念写真を行いました。井波ではガラス戸越しに見える彫刻師が観光客に目をくれず黙々とのみを打つ姿が印象的でありました。その後、バスは予定通り金太郎温泉に到着、一日の疲れを広々とした大浴場で癒やし、宴会は午後六時から中村老ク連会長の挨拶に続

いて松井前会長の乾杯の音頭で交流の場は一気に盛り上がりました。今回の旅行は同窓生の出会いがあり、懐かしく盛り上がりました。カラオケタイムも最後まで途切れる事なく盛り上がり、中締めの後、今回は琵琶湖周航の歌を全員が合唱し、尾崎監事の音頭で閉会しました。二日目は、尾崎かまぼこ見学、立山おかき工場見学とおかき作りの体験、池田屋安兵衛での富山漢方薬の買い物ツアーを満喫し、思い出一杯、お土産一杯の研修旅行であったと思えます。参加頂きました皆様方、バス乗務員の方々のご協力により、無事帰宅できました。





県外一泊研修旅行

十一月二十一日には滋賀県老人クラブ大会が米原文化産業交流会館にて開催され、伊吹老ク連からは単ク役員、老ク連役員の十八名が参加しました。春照の田中正紀様が滋賀県老人クラブ連合会長より表彰を受けられました。その後「笑って減災、ナマズ流」と題して高島災害支援グループによる活動講話を受けました。ボラティア活動一九年経歴の持主、代表二人による最初の十五分間は掛け合い漫才調でプロかなと思ふ程おもしろ、おかしく拝聴する事ができ、中でも印象に残った教訓は、いつ地震が起きても良いように「パジャマで寝るのでなく、トレーナーで寝る」事を実践させているとの事、なるほどと頷くものがありました。



した。
続いて、四国医療産業研究所長櫃本様による講演は自己紹介から始まりました。仕事、表情が一見落語家かなと勘違いする程、楽しく講演を聴く事が出来ました。なかでも「健康寿命を介して自分らしく地域社会に貢献し、ありがとうと言われる高齢者をめざしてほしい」と訴えられた事が印象的でした。
以上が研修部の年間活動概要です。今後とも更なる老ク連活動にご協力願ひまして研修部会のご報告とさせていただきます。

第四九回囲碁大会の結果
平成三十一年二月二十七日
伊吹薬草の里文化センター
優勝 佐々木才次郎
準優勝 北川 学
第三位 福永 傳一



友愛訪問品配布は今年は大変お世話になりました。各単クの女性代表友愛担当の皆様には大変お世話になりました。友愛情報交換福祉研修会には大勢の皆様ご参加いただき貴重なご意見を伺い、これを踏まえて福祉部活動に活かしていきたいと思っております。尚一層のご支援ご協力賜りま



福祉部会 会長

川瀬 四郎

立春も過ぎて、日ごとに暖かさを感じる季節となりました。

会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。平素は老ク連福祉部活動にご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

すようお願い致します。
福祉部といたしては、今後とも会員皆様と共に健康友愛奉仕の活動に推進して参りたいと存じます。最後に一年間ご支援ご協力を重ねて感謝を申し上げますお礼とさせていただきます。



KYT (危険予測トレーニング)



友愛情報交換



保体部会 保体部長

石河 勝美

日ごとに春の陽気を感じる今日この頃となってきました。会員の皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。今年度は平成最後の年であり、また新たな時代の幕開けの年でもあり、感慨深い年明けになったのではないのでしょうか。

平成三十年度も残すところわずかになってきました。保体部の事業も滞りなく終えることができました。これも会員皆様のご協力のお陰とお礼を申し上げます。

長年老く連で、ご活躍いただいた保体部長の筒井正信さんが昨年十月に亡くなられました。一生懸命取り組みだしている中での不幸で非常に残念な思いをしております。心よりご冥福をお祈りするものです。

保体部ではこの一年、スポーツを通じて会員皆様の健康づくりと交流を図り、これからの高齢社会を元気に楽しく暮らせるよう活動を行って参りました。

五月には初夏複合スポーツ大会を開催し、青空のもと一日楽しく競技いただきました。九月には長浜バイオ大学ドームにおいて、第二十九回米原市老く連高齢者スポーツ大会が行われました。今年度から米原老く連が不参加となり、伊吹、山東、近江の三老く連での開催となりました。十一月には秋季グラウンドゴルフ大会を開催し、日頃の練習の成果を発揮して頂きました。二月には二日間に行ったり冬季ゲートボール大会を行いました。年々参加者が減ってきているのが気がかりなところで、三月には今年度最後の事業となり、スマイルボウリング大会を行いました。

保体部におきましては、今後とも会員皆様の健康づくりに向けて頑張っていきたいと思っております。

最後になりますが、保体部の各単クの会長様には各大会の準備から後片付まで大変お世話になり有り難うござい

初夏複合スポーツ大会

平成 30 年 5 月 29 日 (火) 第一グラウンド

参加チーム数 グラウンドゴルフ 20 チーム
 ペタンク 男子 12 チーム 女子 12 チーム
 公式ワナゲ 男子 14 チーム 女子 17 チーム
 参加者 約 244 名

種目	順位	優勝	準優勝	3 位	敢闘賞
グラウンドゴルフ		上野C	伊吹B	上野A	杉澤A
打数		264	266	274	275
ペタンク	男子	伊吹D 3勝0敗 +17点	伊吹A 2勝1敗 +13点	大久保B 2勝1敗 +5点	伊吹B 2勝1敗 +2点
	女子	伊吹A 3勝0敗 +10点	村木B 2勝1敗 +9点	伊吹C 2勝1敗 +3点 得失点率 0.53	藤川 2勝1敗 +3点 得失点率 0.52
公式ワナゲ	男子	伊吹B 308	大久保A 274	大清水B 232	上野 228
	女子	伊吹D 267	弥高 247	村木A 231	伊吹B 196

※グラウンドゴルフ (8番 25メートル) ホールインワン
 近藤かつ様



村木 和田老く会長宣誓



ワナゲ



ペタンク



グラウンドゴルフ Aコース入賞の皆さん



グラウンドゴルフ Bコース入賞の皆さん

冬季ゲートボール大会

平成31年2月20日～21日 参加11チーム すばーく伊吹

順位	チーム名	勝敗	得失点差
優勝	杉澤A	6勝2敗	36
準優勝	伊吹B	6勝2敗	25
3位	伊吹A	6勝2敗	22
敢闘賞	村木	5勝3敗	17
5位	大久保B	5勝3敗	16
6位	大久保A	5勝3敗	-2
7位	春照	4勝4敗	1
8位	杉澤B	3勝5敗	-12
9位	高番	2勝6敗	-33
10位	大清水	1勝7敗	-32
11位	藤川	1勝7敗	-38



ゲートボール大会 優勝 杉澤Aチーム

秋季グラウンドゴルフ大会

平成30年11月7日
県立伊吹運動場 第2グラウンド 参加者133名(敬称略)

順位	Aコース 57名					
	単ク名	氏名	1R+2R計			スコア
			実打	1打	2打	
1	杉澤	堤 庄諒	37	2	8	31
2	伊吹	岩崎忠義	36	1	10	33
3	村木	山田耕市	37	1	10	34
4	大久保	川瀬敏子	42	1	6	39
5	高番	西川好信	39	0	10	39
6	杉澤	武田喜久雄	43	1	8	40
7	春照	山崎恵子	43	1	6	40
8	弥高	藤敦善弥	43	1	4	40
9	藤川	藤居一男	40	0	10	40
10	春照	的場紀夫	40	0	8	40

※ホールインワン賞(4番25メートル) 武田喜久雄様

順位	Bコース 56名					
	単ク名	氏名	1R+2R計			スコア
			実打	1打	2打	
1	上野	高橋 実	37	1	9	34
2	伊吹	堀川みす江	38	1	8	35
3	弥高	中辻英雄	36	0	12	36
4	—	—	—	—	—	—
5	伊吹	山本静子	41	1	6	38
6	上野	森田光弘	42	1	6	39
7	上野	堀江美代子	42	1	5	39
8	春照	伊藤保之	43	1	4	40
9	上野	森 仙八	40	0	10	40
10	上野	藤田良治	40	0	9	40

スマイルボウリング大会

平成31年3月6日
伊吹山麓青少年総合体育館 参加28チーム 参加者156名

レーン	勝者チーム名	勝敗	得点
1	弥 高	3勝0敗	94
2	春 照B	3勝0敗	115
3	上 野A	3勝0敗	85
4	藤 川B	3勝0敗	98
5	杉 澤	3勝0敗	84
6	藤 川C	2勝1敗	98
7	伊 吹E	3勝0敗	94

総合優勝 杉澤チーム
ストライク賞(敬称略) 中辻英雄 中田武平





米原市老人クラブ連合会 高齢者スポーツ大会

平成 30 年 9 月 28 日 長浜バイオ大学ドーム

選手役員 (参加者) 伊吹老ク連 102 名 山東老ク連 80 名 近江老ク連 91 名

種目別結果

計 273 名

種目	順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
グラウンドゴルフ (12)	成績	宇賀野 428	新庄 432	朝日 452	日光寺 457	上野 B 459
バタンク男子 (12)	成績	村居田 3勝+16	日光寺 3勝+14	大久保 2勝+8	大鹿 2勝+1	高溝 2勝±0
バタンク女子 (12)	成績	世継 A 3勝+23	伊吹 A 3勝+21	世継 B 3勝+10	村居田 2勝+9	多和田 2勝+3
ワナゲ男子 (12)	成績	世継 795	母の郷 738	大久保 705	舟崎 616	伊吹 570
ワナゲ女子 (12)	成績	寺倉 730	舟崎 725	本市場 719	伊吹 A 669	伊吹 B 656

※各種目に各老ク連より 4 チーム出場

※伊吹老ク連初夏スポーツ大会からのチーム名変更



美しく老いる ⑦④

共に歩んだ昭和と平成



たかこ

伊吹老人クラブ (親和会) 堀川 和子

平成の十年頃からでしょうか地球温暖化が進み始め今日に至るまで、徐々に夏の温度も上昇し、豪雨が襲い大きな被害が幾度となく出る年月を重ねてきました。昨年の気象状況は過去に無く、①集中豪雨の物凄さ②台風の威力の凄まじい事③身近なところでの竜巻の恐ろしさ④異常な程の夏の気温、体温を遙かに超えて四〇度代の猛暑の連続でした。今後の気象が心配されます。年号も新たになる今年も平穩無事に、過ごせる事を祈ります。

私は、小学校六年の間に五回の転校をして、幼な馴染みの友達は一人も出来ず、淋しい思いもしました。伊吹の地にて中学校三年生を安定して卒業させて頂き、友達も沢山出来てうれしかったです。数年後、縁あつて伊吹に嫁ぎ三人の子供に恵まれ、日常生活や子育てに苦勞を重ね会社に勤め平成十年に退職しました。平成十七年に老ク連の役員活動に入り、同時期にグラウンドゴルフの連盟が立ち上がり、再び役を拜命して両方兼任しながら役員活動をさせて頂き微力ながら十三年間勤めさせて頂きました。

この間老ク連の機関誌「年輪」にも十数回恥ずかしながら掲載して頂き勉強させて頂きました。沢山いろいろな人達と出会いと交流を深め、親しい友達も出来て本当に意義のある人生の一ページを飾る事が出来ました。今後は元気で老後が過ごさせて頂いたら出来る限り人様のお役に立ちたいと思つて居ります。



このたび、県老人クラブ大会に於いて、図らずも県老ク連会長表彰に浴し、光栄の極みに存じて居ります。これも偏に諸先輩始め会員皆様の温かいご指導、ご協力の賜のお陰で受賞させて頂いたと感謝申し上げます。

顧みますと平成十九年、春照北老ク会長を振出しに本部役員として六年あまり、老ク連活動に携わせて頂きましたが、浅学非才の未熟な私が、職責を全うしていたか、表彰に値する努力していたのかと自問自答しております。

最近では老ク会員になられる方も年々少なくなり、加盟されない地域も増えているのが現状です。老クも、その時代に即したあり方や、考え方や活動があると思います。

私達は、お互いに助け合い、支え、共に分かち合いの互助精神で、地域社会と連帯の輪を広げて行きたいものです。

これからも微力ですが老ク活動の一員としてお手伝いを



表彰式での田中会長

県老人クラブ連合会会長「老人クラブ育成功労者」

表彰を受けて

春照老人クラブ会長 田中 正紀

させて頂いたいただきたく存じます。最後になりましたが、伊吹老ク連の限りない発展と会員各位の御健勝を祈念致します。ましてお礼の言葉といたします。ありがとうございます。



大会に向けての練習



ジグザグ運転



伊吹老ク連チーム

暖かい日差しを浴びながら、軽快に自転車のペダルを漕ぐのは楽しいものです。また、風を切って走ると、流れ行く自然の景色に漫喫感をも覚えます。

さて、昨年の十一月に「秋の交通安全運動」の一環として、高齢者を対象とした「交通安全高齢者自転車大会」が、守山市の市民体育館で開催されました。私も米原市伊吹老人クラブ連合会チームの一員として、競技に参加させて頂きました。

競技方法は、信号機や標識が設置されている中を、交通规则やバランスに気を付けながらゴールまで安全に運転し、競うというものです。

大会には、県内各地の老人クラブチームが参加されました。どのチームも慎重かつ冷静に競技に臨まれていて、とても高齢者とは思えぬ程の運転技術を発揮されていました。

私たちのチームも、事前に何日か練習をした成果が出て、団体の部では残念ながら入賞

できませんでしたが、個人の部では入賞し立派な成績を修められた方がおられました。

自転車は手軽に乗れるため、世代を問わず日常生活でよく利用されています。しかし、手軽であるが故に、少しの油断で思わぬ事故を起こしたり、遭遇したりすることがよくあります。

私も現在、シルバー世代真只中です。自転車に乗っていると、ヒヤッとすることが多くなってきました。

今後は、自分の力を過信することなく、今大会で学んだ安全確保やバランス感覚をいつも意識しながら、安全運転に努めていきたいと思っています。

滋賀県交通安全高齢者

自転車大会に参加して

上野老人クラブ会員 木原 行裕

単クダより



弥高老人クラブ

会長 山崎 市郎

二度目の会長を受けさせて頂き、皆様のご協力のお陰で、無事に終わろうとしています。毎年あたりまえに、行われてきた行事も、いくつか取り止めた行事もありますが、春の竹の子掘り、桜の花見、少ない会員の中での、各スポーツ大会への参加、夏には、お墓の清掃等、会員が親睦を深める良い機会でした。又、区長さん民生委員さん、福祉委員さんで計画された七月の七夕会、九月の防災の話し合い、十一月の健康体操への参加、特に七夕会は老若男女が集い、タンザクに願いを書いてつるし、童心にかえり楽しい一時を過ごす事が出来ました。人と人とがふれ合う事が少なくなっている今、地域福祉は、とても大事な事だと思っております。今後も積極的に参加をして行きたいと思っております。



杉澤老人クラブ

会長 稲村 久米蔵

この度、杉澤老ク会長を仰せつかり、この大役が務まるか心配していましたが、役員や会員の皆様方のご援助ご協力をいただき、一年間無事に終わることができました。例年の活動の中で、特に本年は忘年会にて新しい試みを行いました。一つは「ビンゴゲーム」の景品を、出席者が持ち寄ることとしました。かつての不要品バザーを思い出し、家庭にあるもので景品にふさわしいものをお願いしました。当日は、誰一人忘れることなく、皆さん積極的に

参加され、例年以上に大盛況に終えることができました。もう一つは、スライド「杉澤老人クラブの足跡」を上映して、皆さんと映像を見ながら諸活動を振り返りました。バス旅行に参加出来なかつた方も、思いを共有できたことは、大変好評でした。準備が大変でしたが、数年前の写真を見て、「若かったな」「あの人も元気に写っているわ」と、当時のことを思い起こしておられました。



村木老人クラブ

会長 和田 譲

会員数七十名、村木の人口の約半分が高齢者です。

主たる活動は月例会です。年間六回実施、毎回会員の約四割、三十名前後の参加があり、食事をメインに、アトラクションやゲームを楽しんでいます。十二月月例会は大掃除と物故者の法要、そして食事会。最後に、ビンゴゲームを行いました。この忘年会には、半数を超える会員の参加があり、活況でした。

今年度は、五年ぶりに県外日帰り研修を実施、参加人数は少数ではありましたが、めんたいパークの見学やガン封じ寺への参詣、海鮮料理に舌鼓を打ち、ゆつたりのんびりとした一時を過ごしました。その他に、生き生き体操やお花、ゲートボールなどの活動があり、伊吹老ク連の行事にも参加しています。また、バス停などの除草やお墓の六地藏さんの清掃、正光寺の仏具磨きなど、少しではありますが、地域への感謝の活動もしてきました。お陰をもちまして、村木区を始め、会員の皆様のご理解とご協力のもとに活動できました。特にボランティアサークル「ひまわり」の皆様や福祉委員様、赤十字奉仕団の皆様などの支えにより活動できたことに感謝いたします。有

編集後記

「ねんりん94号」に、投稿して頂いた執筆者の皆様、ありがとうございます。お陰様で平成最後となる広報誌を、発行することが出来ました。さて、来年度は、平成三十一年度と新元号の年度とが共存します。新元号は、四月に公表され、五月からスタートします。どんな元号になるのでしょうか。新元号の元号は、六月には、オリンピックのチケットの発売が開始されます。テレビ観戦がいいのか、実物を観るのがいいのか悩むところです。九月には、ラグビーのワールドカップが開催されます。個人的な好みですが、面白いですよ。その後、十月から消費税の増税が、決まっています。来年度も山あり、谷ありの一年になりそうです。この一年間、会員皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。来年度も変わらぬ、ご協力をお願い申し上げます。老ク連会長 中村隆法

難うございました。